

第五報

新型コロナウイルス感染症対策における看護管理者の意見交換会を開催して

秋も深まり、豊かな自然を楽しめる季節を迎えております。そんな中、我が国は第3波を迎えているとも言われております。皆様の施設でも、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症のダブル流行に備えての取組を急がれていることと思われまます。

本会は、通称「金曜ミーティング」と称し、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ施設や協力施設の看護管理者とともに情報共有しながら、各施設の課題等への対策に役立てていくため、遠隔システム（ZOOM）を活用した看護管理者の情報交換会を2週間に1回開催しております。

参加施設はテーマによって差があります。また、看護管理者だけでなく感染管理認定看護師等の参加もあり、回を重ねながら有意義なものになっております。

意見交換の内容は、①コロナチームの看護体制、②看護師のフォローアップ等の支援、③陽性患者の看護の実際、④新型コロナウイルス感染症に関する厚生労働省の通達文書の情報共有、⑤看護協会からの情報提供、⑥インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症のダブル流行期への備え、等です。

これから、多くの看護職が張り詰めた中で感染対策に努めていくことが予測されます。本会は、看護管理者との意見交換会の機会を得て、皆様の様々な課題を共有し、このダブル流行期を乗り越えていきたいと思ひます。

会員の一人一人が健康に留意されますことを心から祈念しております。そして、「看護の力」を結集し、鹿児島県の医療体制を支えて参りましよう。

2020年11月12日（木）

公益社団法人鹿児島県看護協会

会 長 田畑 千穂子